

わくわく俱楽部

江口グループ

第133号

平成30年8月発行

「むごい教育」とは…

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



今 月も江口グループわくわく俱楽部のニュースレターを読んで頂きありがとうございます。ただいま原稿を書いている現在(7/10)はロシアワールドカップの準決勝の日です。どのチームが優勝するか楽しみです。そして何より日本代表の活躍ぶりには感動しました!! 大会前の下馬評を覆し、チーム一丸となって勇敢な戦いで見事予選リーグを突破しました!! 残念ながらベスト8には進出できませんでしたが、ベルギー相手に素晴らしい試合をしてくれました。ありがとうございました!! 日本代表に勇気をもらったロシアワールドカップでした。

さ て今月は戦国武将の今川義元のエピソード「むごい教育」というお話を聞きましたので紹介したいなと思います。むごいとは漢字で書くと「惨い、酷い」と書き、意味は「見るにたえないほど痛ましい。残酷である。」という意味です。さて、今川義元の考えたむごい教育とはどんな教育なのか?

戦 国時代、徳川家康は人質として、近隣の戦国大名、今川家・織田家を転々としました。その家康がまだ幼くて、人質だった頃の話です。駿河の国を治めていた今川義元は、政略的に竹千代(後の徳川家康)を人質に取り育てた時代があります。確か竹千代が8歳くらいからだったと思います。義元は、教育担当の家来に対し、一言だけ指示しました。「竹千代にはむごい教育をせよ」暫くして、義元は家来を呼び、「竹千代はどのような様子か」と尋ねました。家来は以下のように報告しました。「はい、早朝から起こし、水練をさせ、三食は粗食を与え、昼は馬術や剣術に励ませ、夜は学問と厳しく教育しております。」報告を聞いた義元は烈火の如く激昂したそうです。「馬鹿者! それはむごい教育とは言わん! 朝は好きなだけ長寝させ、山の幸や海の幸あふれる贅沢な食事を与え、武術や学問が嫌と言えば決して無理強いせず、常に傍らには女を侍らせ、本人の望む通りに何でも与えてやるが良い。そうすれば、大概の人間は駄目になる。」家来は、ここまで聞いて、やつと義元の真意に気が付いたのです。やがて隣国の大将となる竹千代を、腑抜け人間に仕上げようと思っていたのです。

し かし、今川義元の思惑通りにはならず、竹千代はやがて織田家人質となって、隣国に向かいいます。徳川幕府十五代260年にも及ぶ天下泰平の礎は、義元の考えとは違う、家来の考えたむごい教育によって築かれたのかもしれないのです。さて、この義元の言う「ご馳走・美女」という、あまいゆ

るやかな教育のどこが「むごい教育」なのでしょうか。一見、楽でありがたいように思われる美食・美女そして自由な生活。このことで、竹千代は将来、武士として強くたくましく生きなければならないのに、あまい環境にすることで信念も筋金もない骨抜きの人間になるはず。これこそ竹千代にとって「むごい教育」なのだと義元は言いたいのです。

日 本には昔から素晴らしいことわざが残っています。「三つ子の魂百まで」赤ちゃん~3歳くらいまでに沢山甘えさせ、抱っこし、甘えを満たしてあげることが一生を通じて心の安定した人への土台、愛着が形成されていきます。それが「基本的信頼感」となり、他者への信頼、自分への信頼、社会への信頼へつながるのです。その「基本的信頼感」が、幼少期に醸成されたあとには、バランスを見ながら、ここまでではやっていいけど、ここまでではやっちゃダメだというルールや決まりなどを設け、厳しさも必要になってきます。いつまでも子どもの自由、子どもの言いなりになることは、「むごい教育」になりかねないのです。

戦 後日本も、「ゆとり教育」の導入はどうだったのかなど思うことがあります。そして子供たちの教育においてだけではなく、ビジネスの世界も同様だと思います。振り返れば、物判りの良い優しい上司よりも、厳しい上司に感謝することも多いものです。義元の家来は、むごい教育だと感じて徹底して厳しい教育を行ったが、それが実は人間力、様々なスキル、知識・教養をつける最高の教育になっていたのです。私達人間は、ゆとりだけでは成長しません。「社会の中で生きる力」をつけていくためには、若い時こそ、いろいろな困難、悩み、試練、辛さ、苦しみを多く経験する程、強い人間になっていきます。毎日やらなければならないことに追われているほうが、日々充実し、時々ある休養・ゆとりの有り難さを心底から感じられるのです。子供はもちろん部下・後輩に対してむごい教育ばかりを行ってはならないなと思いました。

毎日ブログを更新しています。現場や会社のこと。
好きなアルバのカレーのことなど書いています。
こちらもぜひご覧ください!

4代目のブログ

毎日更新中!!



4代目の江口グループ現場だより

土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
皆さんのご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^^)/



高校生の採用活動始まりました～現場監督募集しています！

7月から高校生の求人募集が解禁となりました。江口組は今年も高校生の採用活動を行います。今年も例年同様の2名の現場監督を募集します。「工事現場が好き・自分が生まれた町が好き・仲間と働くことが好き」この中で1つでも好きが当てはまった人は江口組で働いてみませんか？高校生はもちろん、大学生や中途採用の方も大募集集中です！！

さて、7月7日に金沢の産業展示館で行われた高校生を対象とした企業ガイダンスに参加してきました。就職希望の高校生に向けた合同企業説明会です。当日はその週に降り続いた大雨の影響で昨年より高校生の参加者が少なく感じました。社長と工事部の浦が会社の説明をし、先輩の質問コーナーで高卒2年目の高木&中野初が高校生からの質問に答えるというスタイルで1回25分間の説明を計5回行いました。初めて話す機会になった新卒2年目の2人が高校生たちの質問に対して2人の個性を十分に活かし、しっかりと答えていました。この中から来年の春に一緒に働く仲間が出てくれたら嬉しいです！



産業展示館で開催されました



工事部浦くんの説明



先輩への質問コーナー

新しい採用パンフレットが完成しました！「江口組ってこんなトコ」

高校生の採用活動が始まるにあたり、江口組の採用パンフレットを新しくしました。その名も「江口組ってこんなトコ」です。このパンフレットを見た人は、建設業の会社のパンフレットっぽくないねって言われました。そうですね、あまり建設業のパンフレットらしくないかもしれません。建設業のこともうですが、江口組で働いている人、会社の雰囲気、社長はどんな人か、そんなことを高校生もそうだし、就職活動をする大学生に知ってもらいたいなって思い作りました。たくさんの社員が登場している社員みんなで作ったパンフレットです。どんどんこのパンフレットが活躍し、沢山の仲間が増えたらいいなって思います！



女性の活躍紹介ページ



若手男子の紹介ページ



先輩の紹介ページ

7月の大雨で土のうを600個つくりました。



水かさが増えた梯川(古府町)



土のう作りを頑張りました

7月初めに降った大雨は西日本に大きな被害をもたらしました。小松市も大雨が降り、被害が出た方もいらっしゃるのではないかでしょうか。江口組は、もしもの時のために土のうを600個作り、もしもの時の洪水の対策をしました。小松の雨は大きな被害が出ることもなく止み、土のうが活躍することがなく一安心しています。今年は大雪、暑さと異常気象が続いています。これからはゲリラ豪雨にも注意が必要ですね。

粟津温泉の道路工事完成し感謝状を頂きました



現場担当:中野初音

去年から粟津温泉法師さんの前で行なっていた道路工事が無事に終わりました。キレイな石張りの道路に生まれ変わりました！工事が無事に終わりキレイな道路ができたことも嬉しいのですが、もっと嬉しいことに法師さんからなんと感謝状を頂きました！道路工事をするにあたり、旅館に協力してくれたのでということでしたが、こっちの方が工事で迷惑をかけてたことが沢山あるはずなのに恐縮です。ありがとうございます！嬉しいです。我々の仕事は地元の方々の声は、うるさいとかのクレームを頂くことはあるけど、こうやって「ありがとうございます」という声を直接頂けることが全くないので、貴重なことだし本当に嬉しいことでした。



キレイな石張り道路



感謝状頂きました！

フローラル花いっぱいコンテストで審査員特別賞をいただきました

小松商工会議所女性部主催で毎年行われているフローラル花いっぱいコンテストで江口組の花たちが審査員特別賞を受賞させていただきました！ありがとうございます！

これで3年連続の受賞となりました。江口組本社に来ていただいたお客様のために、また社員の癒しのためにと春先から、毎日女性スタッフたちが愛情込めてお世話してきた賜物です(^^)江口組本社の前はお花で賑やかになっています！近所の方たちからも「キレイだねー」とお褒めの言葉をいただけています。ご来社のかたはぜひご覧になっていて下さい(^^)



標高1,000mを超える道路工事の現場では動物と沢山出会えます！

標高1,000mを超える小松市津江町で行っている道路工事は、木の伐採が終わりに切土、土砂運搬を行っています。土砂運搬の進捗は現在1/3程進みました。35℃を超す暑い夏が続いているが、この現場は標高が高いこともあります。小松の町なかよりも涼しく現場の作業が進んでいます。

新入社員の森中君もこの現場で、工事測量など一生懸命がんばっています。通勤経路では猪、鹿、子熊、猿の大群とよく遭遇します。人間は全く、いませんが、動物が沢山住む現場。みんな大人しいですが、動物たちの機嫌を損ねないようイイ林道を造るようにがんばっています！



現場作業の様子



新入社員森中くん

子ども現場見学会～工事現場で楽しく学んで遊ぼう～2018

毎年夏休みに開催していた江口グループの子ども現場見学会。「今年はやらないの？」という問い合わせがありました。もちろん今年もやりますよ！ただ、今年の夏の暑さはすごいので、少し涼しくなった9月に開催予定です。来月号に詳細を載せます。もう少しお待ちください～！！



スタッフ通信

花火大会

工事部 浦 直之

クリエイション江口 池田 理恵

工事部 喜地 翔葉

毎年忙しい時期でも
行ける花火大会を探して
見に行っています。想い出は
活力になります。
今年は川北かな?



夏の思い出は、友達と
山へドライブに行つた時
街中とは、違ひ風が冷たく
気持ちよがつた



こんにちは。暑さの厳しい日が続きますね。
今月も、スタッフに聞いた「夏の思い出」です。

小学生の頃、年子の弟
と2人、夏休みに輪島、
山奥の母親の実家に
預けられていました。
山での涼くてエアコン
いらう、夜はカブト虫や
クワガタが家の中に飛んで
いました。今は
屋がすごく近づいていい
キレイだ、たりで賞えて
いました。

入社してから2つ目の
現場で、ころんで
泥まみれになつた。
なつかしい 小山

高校の部活終わりに、
部室でみんなでかき氷を食べま
した。暑すぎる練習のあとに、
みんなと話しながら、
わいわい楽しかったです
初音

総務部 喜多 小純

工事部 小山南海子

工事部 中野 初音

お

店舗紹介、
みんなに
知ってほしいこと、
ご意見、ご感想などが
ございましたら
ご連絡下さい!



発行元



江口グループ
株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311(代)